

農林水産業・地域の活力創造プラン（抄）

Ⅲ 施策の展開方向

5. 農山漁村の活性化

高齢化や人口減少の進展により集落機能が低下しつつある農山漁村の活性化を図るためには、地域で受け継がれてきた豊かな資源を活用して新たな需要を発掘するとともに、地域の共同活動を支援し、地域全体で担い手を支えることが重要である。

このため、福祉、教育、観光、まちづくり、環境等の分野において「交流」を軸に関係各府省が連携して農山漁村の再生に取り組むとともに、生活条件などの定住環境を確保し、地域コミュニティを活性化する。また、地域活性化等に取り組んでいる優良事例を選定し全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る。

さらに、野生鳥獣による被害の深刻化・広域化に対応するため、関係府省が連携して対策を推進する。

これらにより、我が国固有の歴史・文化・伝統・自然を育んできた美しい農山漁村を次世代に継承する。

<目標>

関係省庁との連携プロジェクトを展開し、平成32年までに全国で交流人口を1,300万人まで増加

<展開する施策>

- ① 福祉、教育、観光、まちづくりと連携した都市と農山漁村の交流等の推進
- ② 優良事例の横展開・ネットワーク化
- ③ 消費者や住民のニーズを踏まえた都市農業の振興
- ④ 歴史的景観、伝統、自然等の保全・活用を契機とした農山漁村活性化
- ⑤ 農山漁村の人口減少等の社会的変化に対応した地域コミュニティ活性化の推進
- ⑥ 鳥獣被害対策

参考2

農山漁村活性化の優良事例選定について

1. 趣旨

「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現には、農山漁村活性化の優良事例を選定し、全国への発信により横展開を図っていくことが重要。

このため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を、「農山漁村の宝」として全国から発掘（ディスカバー）・発信。

2. 進め方

- (1) 農林水産業・地域の活力創造本部の下に、「ディスカバー 農山漁村の宝」として優良事例を選定する有識者懇談会を開催し、公募の上、以下の観点から20事例程度を選定。
 - ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
 - ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
 - ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現
- (2) 官邸において、選定された地区との交流会を開催
- (3) 各種イベントとのタイアップ、ホームページやメールマガジンの活用等を通じ、「ディスカバー 農山漁村の宝」を全国に発信
- (4) 政府関係者による選定された地区の視察を実施

3. スケジュール

平成25年12月～ 「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき本取組の実施を決定した上で、本部の下に有識者懇談会を開催し、優良事例を公募、選定。

平成26年4月以降 官邸における交流会等を実施。

(別紙)

「ディスカバー 農山漁村の宝」について

(趣旨)

「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現には、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図っていくことが重要。

(進め方)

全国からの公募に加え、地方出先機関による事例の掘り起こし

有識者懇談会による「ディスカバー 農山漁村の宝」の選定(20事例程度)

選定の視点

- ① 農山漁村の有するポテンシャルを引き出していること
- ② 消費者の視点を大切に、経営マインドを持っていること
- ③ 農業・農山漁村の自立を促進していること

選定の対象

- 地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる取組:
- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
 - ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
 - ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

- 官邸において、選定された地区との交流会を開催
- 政府関係者による選定された地区の視察を実施

- 各種イベントとのタイアップ、ホームページやメールマガジンの活用等を通じ、「ディスカバー 農山漁村の宝」を全国に発信